

# 学校インターンシップに参加しよう

出身校等における学校インターンシップ 参加案内



宮城県教育委員会

## 学校インターンシップ

- 宮城県教育委員会が実施。8月下旬～翌年2月末日の5日間以内。宮城県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等で、教諭、養護教諭、栄養教諭の仕事内容を体験。(仙台市立学校を除く)
- 観察や先生の補助がメインとなり、教育実習とは異なって「教える」という部分がないため、学校内の様々な業務や児童生徒の様子を落ち着いて見ることが出来る。
- 教職課程を履修中の学生が対象。

大学1年生から参加可！

4月に大学(教職課程窓口)から案内・もしくはホームページで確認

4月上旬～5月上旬、大学を通して申込み

多くは8月下旬～9月中旬もしくは2月の5日間で実施

## 旅費補助

宮城県外の大学に在学中で宮城県外に居住の方を対象に、25,000円を限度として旅費を補助

詳細はホームページ掲載

宮城県教育庁教職員課



宮城 教職員課

検索

【問合せ】宮城県教育庁教職員課 ☎022-211-3637

# FAQ

## ○「出身校等における学校インターンシップ」に参加するメリットはありますか？

*Answer*  
多くの大学で3年生の後期もしくは4年生の前期に行われる教育実習は、教職課程の単位に含まれ、その内容も、授業やホームルーム運営など、「先生」としての動きが求められます。一方「出身校等における学校インターンシップ」は、プレ教育実習のようなものと位置付けている方も多く、先生の動きや児童生徒の様子を間近で見ることができるのがメリットと言えるでしょう。

そして、何と言っても、目の前に児童生徒がいることで、子供たちのエネルギーを感じるとともに、かけがえのない存在を守り育てたいと思わせる場に身を投じることができることも、非常に大きいものであると言えるでしょう。

さらに、学校インターンシップで先生の動きを見ることができたので大学での学びが意欲的になり良い成績を取ることができました、という声も聞かれました。

## ○教員になるのに「出身校等における学校インターンシップ」への参加は必須ですか？

*Answer*  
必須ではありませんが、参加いただくと、上記メリットを含め、将来設計に有効に働くと考えられます。

なお、教員になるには、教員免許状の取得が必要となります。多くの大学では1年生前期から教職課程が始まりますので、ご注意ください。

## ○参加した方々の感想などありますか？

*Answer*  
参加者からの感想を抜粋で紹介します。  
「現場の先生が一人一人に対応しているのを目の当たりにして、素敵な仕事だと思いました。」  
「自分が通っていたころとは違ってデジタル化が進んでいるのがよく分かりました。今日が教育実習だったらと思うと恐いです」

「子供が好きなんだと気付けたのが一番の収穫でした」  
「インターンシップを行った後、大学の授業では、自然と生徒がいる想定で動けるようになりました」  
「授業の進め方など、とても勉強になります。たくさん真似しようと思います」  
「大学の授業では子供の接し方や話し方はあまり教わりません。子供が目の前にいないと分からないことがあるので、インターンシップはとても勉強になります」  
「インターンシップによって生徒から教師への視点の切り替えができました」  
「教育実習よりも余裕があるので個別指導の仕方を間近で見ることができました」

## ○どうやって申し込みばよいですか？

*Answer*  
宮城県内大学では4月上旬～中旬に教職課程受講者向けに案内があるところが多いようです。県外の大学や、大学の教職課程担当の方から案内がないようでしたら、「宮城県 教職員課」のホームページで確認いただき、大学の教職課程の窓口にお問い合わせください。  
申込みはすべて大学を通して行うこととなります。